



第5回定時社員総会議事録

1. 日 時 2016年6月18日(土) 10時30分～15時53分

1. 会 場 歯科技工士会館
東京都新宿区市谷左内町21番地の5

1. 出 欠 社 員 80名中80名出席(うち委任状出席1名)

出席役員の氏名

業務執行理事

杉岡範明 西澤隆廣 直塚正昭 時見高志 夏目克彦

岩澤毅 上野有紀 下江宰司 森野隆 西村敏和

奥村英世 柴田さとみ

理事

綾部一則 伊集院正俊 三好博文 上野博 吉田比呂志

榎倫生 松井哲也

(理事20名中19名出席)

監事 大日向均 岸本秋朗(2名中全員出席)

議 事 日 程

1. 議 長 団 選 出

1. 氏 名 点 呼

1. 資格審査委員会委員長報告

1. 開 会

1. 議 事 録 署 名 人 指 名

1. 物故会員に対する黙禱

1. 議事運営委員会委員長報告

1. 会 長 挨 拶

1. 議 案

第1号議案 2015年度事業経過報告承認の件

第2号議案 2015年度会計収支決算報告承認の件

監事報告

第3号議案 顕彰規程一部改正承認の件

第4号議案 理事及び監事選任の件

1. 協 議 事 項

1. 報 告 事 項

- (1) 時局・渉外について
- (2) 2016年度事業計画・予算について
- (3) 総合政策審議会について
- (4) 2016年4月実施、歯科診療報酬改定について
- (5) 教育研修事業について
- (6) 歯科技工士生涯研修規程施行細則変更について
- (7) 献血ボランティア推進事業について
- (8) 歯科技工士法制定および日本歯科技工士会創立60周年地域交流記念大会について
- (9) 歯科技工所開設届け出等整備推進事業について
- (10) その他

1. 閉 会

経 過

1. 議 長 団 選 出

執行部、議事運営委員会で推薦された、小笠原明社員（東京）と庭山麗子社員（福井）をそれぞれ議長と副議長としたい旨を議場に諮り、承認された。両者、承諾した。

1. 氏 名 点 呼

副議長、氏名点呼を行い、社員80名中77名の出席を確認（うち1名は定款第20条に基づく委任状出席。後刻、3名の到着を確認）。

1. 資格審査委員会委員長報告

委員長衛藤勝也（広島）より、社員総会に先立ち午前10時から開催された委員会において審査の結果、1名が委任状出席の申出があった旨の報告があった。

1. 開 会 宣 言

議長、これを受け定款第19条第1項（過半数の出席）により第5回定時社員総会は成立する旨を告げ、開会を宣した。

1. 議 事 録 署 名 人 の 指 名

議長、議事録署名人の指名を議場に諮る。議長一任となり、下記兩名を指名。全会一致をもって承認。両者受諾す。

川崎晋二（熊本）

今野悟（秋田）

1. 物故会員に対する黙祷

2015年度の物故会員46名の冥福を祈り黙祷。

1. 議事運営委員会委員長報告

委員長江島彰徳(滋賀)より、社員総会に先立ち午前10時から開催された委員会において、議長団選出から会長挨拶までを30分で行い、その後、第1号議案、第2号議案、監事報告を一括で行い、質疑応答を含み、第3号議案までを1時間で終了させる。引き続き協議事項、報告事項を行い、第4号議案の提案までを12時30分までに終了させ、昼食時間30分間を挟んで理事及び監事の選挙を13時から行い、途中の開票時間を利用し、14時10分から14時30分まで日技厚生会運営委員会、14時30分から14時50分までニチギデータセンター運営審議委員会を開催する。15時から開票結果の報告とそれに伴うセレモニーを行い、全日程を16時終了予定にて進行することとした旨の委員長報告があった。

1. 会 長 挨 拶

会長杉岡範明より所信表明の挨拶があった。(省略)

1. 議 案

議長、議案審議開始を宣し、執行部に第1号議案、第2号議案の一括提案を求めた。

(1) 第1号議案 2015年度事業経過報告承認の件

(提案者) 常務理事 岩澤毅

2015年度事業経過報告に関し、総括報告の概略等、議案資料を基に提案説明があった。

議長、引き続き第2号議案の提案を求めた。

(2) 第2号議案 2015年度会計収支決算報告承認の件

(提案者) 常務理事 上野有紀

2015年度会計収支決算に関し、今までの収支計算書ベースを改め、正味財産増減計算書に移行させた旨、そのため、税理士法人から税理士をお呼びしているため、決算報告していただく旨の説明があり、税理士より議案資料を基に提案説明があった。

次いで議長は、監査報告を求めた。

監査報告

(報告者) 監 事 大日向均

2015年度の会計は正確かつ適切に処理されており、また、会務は適正妥当に執行されたものであるとの監査報告があった。

議長はここで、第1号議案及び第2号議案に関する質疑応答に入る旨を告げた。

〔質疑応答〕

事前の文書による質問要望事項の、教育年限の延長の意義と進捗状況について、経済問題解決のためのロードマップについて、“日技新発展『7』プラン”の終了年度について、社員総会議案書の発送時期について、「会員管理及び会費規程」第3条5項の改定について、組織拡充事業に関する調査について、「歯科技工所開設届け出等整備推進事業」の終了年度について、と関連で組織拡充の方策について、“日技新発展『7』プラン”の戦術について等の質疑応答があった。

議長、他に質問がないことを議場に確認し、第1号議案及び第2号議案の採決を告げ、賛成者の挙手を求めた。

(採決結果) 第1号議案及び第2号議案とも全会一致で可決承認。

(3) 第3号議案 顕彰規程一部改正承認の件

(提案者) 副会長 西澤隆廣

顕彰規程の運用上、不都合が出る部分があり、その部分を変えるとともに文言等条文整理を行った旨、説明があった。

議長はここで、第3号議案に関する質疑応答を議場に求めたが、質問はなく採決に入る旨を議場に告げた。

(採決結果) 第3号議案賛成多数で可決承認。

議長はここで協議事項がない旨を執行部に確認し、報告事項に入る旨議場に告げ、執行部に報告を求めた。

1. 報告事項

(1) 時局・渉外について

(報告者) 会長 杉岡範明

2015年度の時局・渉外について資料に基づき報告があった。

(2) 2016年度事業計画・予算について

(報告者) 専務理事 夏目克彦

2016年度事業計画・予算について資料に基づき報告があった。

(3) 総合政策審議会について

(報告者) 副会長 時見高志

総合政策審議会の答申内容について、資料に基づき報告があった。

(4) 2016年4月実施、歯科診療報酬改定について

(報告者) 副会長 時見高志

“社会保険歯科診療における歯科技工関連部門の知識と解説〔概要版〕”に基づき報告があった。

- (5) 教育研修事業について
(報告者) 専務理事 夏目克彦
“今年度の教育研修事業と費用の概要”を基に、教育研修事業の多くの申請要請があった。
- (6) 歯科技工士生涯研修規程施行細則変更について
(報告者) 常務理事 森野 隆
歯科技工士生涯研修規程施行細則の変更について、新旧対照表に基づき報告があった。
- (7) 献血ボランティア推進事業について
(報告者) 常務理事 西村敏和
献血ボランティア推進事業に関し、昨年の実績報告と、今年度の実施協力依頼が行われた。
- (8) 歯科技工士法制定および日本歯科技工士会創立 60 周年地域交流記念大会について
(報告者) 副会長 直塚正昭
歯科技工士法制定および日本歯科技工士会創立 60 周年地域交流記念大会について、会員の協力を得て、盛会裏に開催できた旨、報告があった。
- (9) 歯科技工所開設届け出等整備推進事業の実施について
(報告者) 常務理事 奥村英世
歯科技工所開設届け出等整備推進事業の進捗状況等について報告があった。
- (10) その他
(報告者) 専務理事 夏目克彦
熊本地震災害対策本部の対応報告ならびに日技会員状況報告があった。

議長は、引き続いて第 4 号議案の提案を執行部に求めた。

(4) 第 4 号議案 理事及び監事選任の件

(提案者) 専務理事 夏目克彦

現役員の任期が本定時総会終結をもって満了となるので、定款及び役員選挙規程により選挙公示の通り理事及び監事を選任する旨の提案があった。

議長はここで退任の挨拶を執行部に求め、執行部を代表して会長杉岡範明が退任の挨拶を行った。

議長は、昼食休憩に入る旨を議場に告げ、13 時 10 分より議事を再開する旨議場に告げた。

(13 時 10 分議事再開)

議長、議場閉鎖を議場に告げ、立候補者の入場を促した。

議長は、代議員、役員選挙管理委員、立候補者、広報取材者、速記者、事務局以外の退場を告げ、会場閉鎖を行った。

議長、選挙開票の際の立会人の選任を議場に諮った結果、議長一任となり下記社員を指名。各人受諾す。

- ・渡辺倫史（秋田） ・内山昌夫（千葉） ・大西尚之（新潟）
- ・山下茂子（大阪） ・石川文教（香川） ・三城敏裕（宮崎）

議長、選挙を始めるにあたり、三島良之役員選挙管理委員長（以下、委員長という）に経過報告を求めた。

委員長より経過報告があった。

- (1) 2016年1月7日役員選挙管理委員会が設置され、長内隆、松尾博子、矢下一郎、福間正泰、松井丈師、三島良之の6名が委員に選任され、2月12日の第1回委員会にて三島良之委員長、松尾博子副委員長を互選。
- (2) 3月20日発行の『日本歯技』4月号で選挙公示。4月11日から4月15日まで立候補受付。4月15日午後3時をもって立候補届け出締め切り第2回委員会にて審査。選挙実務の細部検討を行う。
- (3) 5月20日発行の『日本歯技』6月号で立候補者（理事候補地区選出枠7名、同全国選出枠16名及び監事候補3名）名簿を公示。
- (4) 6月17日の第3回委員会にて、選挙実務の最終確認。

議長は引き続き、副委員長に選挙方法の説明を求めた。

(1) 選挙方法の説明

副委員長より選挙方法の説明があった。

- ①候補者の演説時間は1分とし、ベルにより時間を通知する。演説は、理事候補、監事候補別に行い、各々順番は届出順とする。
- ②投票順は、窓側前席者から後席者、次に中列の後席者から前席者、最後に通路側の前席者から後席者とする。
- ③理事選出の議決と、監事選出の議決を同時に行う。ピンクの投票用紙は理事用、ブルーの投票用紙は監事用とする。
- ④事務局席で都道府県名と氏名を告げ、投票用紙を受領し、選出に同意する者には○印を付して投票する。
- ⑤社員総会の議決は社員の過半数が出席し、出席した当該社員の過半数をもって行う。本日の出席社員は、委任状出席を含め80名であるため、過半数は「41」となる。
- ⑥当選については、理事、監事とも過半数の同意を得た定数内選挙区の候補者については、当選が確定する。過半数の同意を得た候補者数が定数を超える選挙区については、得票数（○印）の多い順に定数までを当選とする。同得票数により当選者が確定できないときは、くじにて当選者を決定する。
- ⑦会場閉鎖については、投票終了時までとする。

議長、選挙方法の説明後演説に入る旨告げ、選挙方法に関する質問の有無を問うた結果、質問はなく、選挙方法の説明につき議場に諮った結果、承認された。

(2) 選挙実施

・演 説

理事候補者演説(届出順)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| ・杉岡範明(北海道) | ・夏目克彦(岐阜) | ・岩澤毅(秋田) |
| ・森野隆(静岡) | ・奥村英世(愛知) | ・下江幸司(広島) |
| ・斎藤栄一(福島) | ・綾部一則(神奈川) | ・鈴木一央(茨城) |
| ・翁美由紀(長野) | ・宗像篤志(熊本) | ・金井孝行(群馬) |
| ・鈴木正隆(愛知) | ・西澤隆廣(東京) | ・松井哲也(広島) |
| ・直塚正昭(福岡) | ・小野山幸夫(奈良) | ・吉田比呂志(京都) |
| ・榎倫生(和歌山) | ・菊地靖彦(茨城) | ・小川博和(京都) |
| ・清水潤一(大阪) | ・小谷和弘(大阪) | |

監事候補者演説(届出順)

- ・大日向均(秋田) ・伊集院正俊(神奈川) ・上野博(新潟)

・投 票

矢下委員、投票開始を宣し、投票開始。

委員長、投票箱を閉鎖し、役員選挙管理委員、立会人とともに開票会場へ移動。

・開 票

委員長、開票立会人に立会いを要請。

委員長開票作業を開始した。

・開票結果

委員長、開票結果を議長に報告す。

議長、委員長から開票結果を報告する旨議場に告げる。

委員長、全国選出枠の小野山幸夫理事候補、鈴木一央理事候補、吉田比呂志理事候補が過半数を得られなかった旨、他の候補は過半数を得られたため、地区選出枠の理事候補は定数内のため当選が決定した旨、全国選出枠については16名のうち過半数を得た13名が当選となった旨の報告を行う。

北海道東北、杉岡範明(当選)、関東、西澤隆廣(当選)、東海北信越、森野隆(当選)、翁美由紀(当選)、近畿、清水潤一(当選)、中国四国、下江幸司(当選)、九州、直塚正昭(当選)。

引き続き委員長は、全国選出枠の開票結果を報告する旨議場に告げる。

夏目克彦77票(当選)、岩澤毅68票(当選)、奥村英世69票(当選)、斎藤栄一56票(当選)、綾部一則63票(当選)、鈴木一央38票(落選)、宗像篤志67票(当選)、金井孝行66票(当選)、鈴木正隆54票(当選)、松井哲也65票(当選)、小野山幸夫21票(落選)、吉田比呂志40票(落選)、榎倫生56票(当選)、菊地靖彦47票(当選)、小川博和47票(当選)、小谷和弘45票(当選)

続いて委員長は、監事選挙の開票結果を報告する旨議場に告げる。

監事選挙は全候補が過半数を得たため、高得票を得た2名が当選した旨の報告を行う。

大日向均41票(落選)、伊集院正俊58票(当選)、上野博54票(当選)

- ・ **当選承認** 議長、開票結果により議場に当選の承認の挙手を求めた。
(採決結果) 全員挙手、全会一致で当選承認。
- ・ **当選証書授与** 議長、委員長に当選者への「当選証書」授与を求め、委員長より当選者に授与された。

議長はここで定款第 25 条第 3 項の規定を適用し、社員総会による会長候補者の推薦があるかどうかを議場に諮り、社員から杉岡範明氏を推挙する意見が出された。他に社員からの意見はなく、拍手多数により社員総会として杉岡範明氏を会長候補者に推薦した。

委員長、第 4 号議案の理事及び監事選任の件が終了したことを議場に告げる。

1. 閉 会

議長、議事進行等協力への謝辞の後、第 5 回定時社員総会の閉会を宣した。

なお、別室にて新役員による理事会を開催し、新会長等が決定される予定なので、しばらく待機するよう議場に告げた。

(閉会時刻：15 時 53 分)

(新役員退席・別室にて理事会開催)

杉岡理事からは、監事が進行役となって、社員総会の意向を尊重し、杉岡理事を会長（法人法上の代表理事）とすることに異議があるかどうか諮られ、異議なく選定された旨、その後、杉岡会長が議長になり、夏目理事を専務理事に選定した旨、後の業務執行理事の選定については杉岡会長に一任された旨、理事の賛成多数で古橋相談役に引き続き相談役に就任していただくことになった旨が報告された。

その後、杉岡範明新会長による決意表明があった（省略）。

続いて杉岡範明新会長は古橋相談役に挨拶を求めた（省略）。

杉岡会長はこれにて本日の全日程を終了した旨を議場に告げた。

上記が正確であることを証するため、この議事録を議長団及び議事録署名人において記名押印する。

議長の氏名 小笠原明

議事録作成者・専務理事 夏目克彦

2016年6月18日

公益社団法人 日本歯科技工士会

第5回定時社員総会

議長 小笠原 明

副議長 庭山 麗子

議事録署名人 川崎 晋二

同 今野 悟